



小栗キャップの News Letter

税理士法人オグリ 代表社員 小栗 悟

〒500-8847 岐阜県岐阜市金宝町 1-3 岐阜第一生命ビル 4F

TEL : 058-264-8858 FAX : 058-264-8708

Email: info@otc-oguri.com <http://www.otc-oguri.com>

2013年1月24日(木)

中小企業の海外直接投資 直接投資に向けた自社の現状把握

海外進出は発展のチャンス

海外進出というのは、企業にとっても大きな発展のチャンスである一方、リスクはつきものです。粘り強く、詳細に準備を進めていくことが、成功確率を高めることとなります。

また、海外への工場進出は、おおまかに計画策定段階、計画実施段階、海外進出後の運営段階に区分できますが、進出決定後の計画実施段階に入りますと、会社設立申請、工場建設、機械設置、人材の採用、育成等多くの項目が同時並行的に進めていかなければなりません。

この時は、例え、計画に無理があっても修正することは難しく、やり抜くしか道はありません。だからこそ、最初の整理が大事なのです。

海外進出に向けた自社の現状把握

自社の現状把握というのは、ホーム・ページを作るなど、普段でもいろいろな機会があると思います。しかし、視点を海外進出にフォーカスして、自社の現状把握を試みることはあまりないと思います。

まずは、長所、短所別に項目ごとに整理してみましょう。

次いで、掲げた項目ごとに、海外進出による影響を推定してみましょう。

更に、項目ごとに、その対策を考えてみましょう。

もちろん、海外進出を考え始めたばかりで、何もわからないというのが、本音でしょうが、わからないなりに常識の範囲でまず整理してみてください。そして、調べていく過程で修正していくことが大切です。

自社の現状把握整理表

	項目	海外進出の影響	影響に対する対策
長所			
短所			

さらに、自社のコアとなる事業は何か、海外進出によるコア事業への影響はどうかということも考えておく必要があります。特に、コア事業は自社の稼ぎ頭であり、本社の屋台骨を揺るがす影響がないか慎重に探ってみる必要があります。

備えあれば、憂いなし!

